

第1回伊賀市総合計画審議会 議事概要

開催日時	2025（令和7）年5月2日（金） 10:00～12:00
開催場所	本庁舎 4階 庁議室
出席委員	岩崎 恭彦 （【1号委員】三重大学人文学部） オチャンテ 村井 ロサ メルセデス（【1号委員】桃山学院大学人間教育学部） 奥井 公子 （【2号委員】公募委員） 成底 正好 （【2号委員】公募委員） 山本 いずみ（【2号委員】公募委員） 高井 篤史 （【3号委員】伊賀市消防団） 荒井 恵美子（【3号委員】男女共同参画ネットワーク会議） 市川 覚 （【3号委員】伊賀市地域公共交通活性化再生協議会） 加納 圭子 （【4号委員】 — ）
欠席委員	久 隆浩 （【1号委員】近畿大学総合社会学部） 片桐 新之介（【1号委員】合同会社 C. SSS コーポレーション） 朴 恵淑 （【1号委員】三重県地球温暖化防止活動推進センター） 奥西 利江 （【3号委員】社会福祉法人維雅幸育会） 船見 くみ子（【3号委員】公益財団法人伊賀市文化都市協会）
議事日程	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）前回の審議会からの振り返りについて （2）公共のあり方について（第2章） （3）将来像について 4 その他 ・ワークショップ（6/15）について ・スケジュール
議事概要	1 開会 （事務局）：定刻となりましたので、ただいまから、第1回伊賀市総合計画審議会を始めさせていただきます。 ★会議及び議事録公開の確認 （事務局）：なお、会議の公開ですが、「伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により、会議を公開し、会議の傍聴を認めておりますので、報道関

係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いいたします。

また、会議録についても公開させていただきますので、ご了解よろしくお願い申し上げます。

★会議成立の確認

(事務局)：本日の会議の成立でございますが、「伊賀市総合計画審議会条例」第6条第2項に基づき、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議は成立しております。

★資料の確認

(事務局)：次に、資料につきましては、メールにて送付をさせていただきましたが、本日、印刷したものを置かせていただきました。

それではお手元の事項に沿って進めさせていただきます。

2 あいさつ

(事務局)：会長から挨拶をいただきます。

＜会長＞：皆様おはようございます。2025年度としては第1回目の審議会になります。昨年度は合計で8回開催しました。第3回から第8回までの6回は総合計画に関する事項についてご審議いただきました。

本日は、5月のパブリックコメントの前の総仕上げとなります。将来像が本日の議論の中心になりますので、よろしくお願いします。

＜会長＞：それでは、事項に入らせていただきます。総合計画の素案のおおよその部分については、委員の皆さんにご覧いただき、ご意見をいただけてきました。

第3章分野別施策は、前回の審議会から若干の修正はあるものの、基本的には委員の皆さんにご覧いただけてきたものになります。今回は持ち帰っていただいてパブリックコメントの期間にご確認いただき、その上でご意見をいただきたいと思います。

本日は第2章「構想」の中の「公共」について、また、将来像についてご審議いただきたいと思います。まずは、前回の審議会の振り返りについて事務局から説明をお願いします。

—事務局 事項1 前回の審議会からの振り返りについて 説明—

【資料1】第3次伊賀市総合計画（案） 第1章・第2章

【資料2】2024(令和6)年度伊賀市まちづくりアンケート調査結果報告書

＜会長＞：以上、説明が終わりました。委員の皆さんから何かご質問、ご意見等ございませんか。

＜委員＞：農家の年間所得は調査されていますか。昨今、農家の所得が問題になっています。一方で、伊賀市では、伊賀米が特 A の評価を受けています。ピンチをチャンスに変えるという意味でも米農家の所得がいくらなのか、実態を把握したうえで、今後、どのような改善が必要なのかを総合計画で示すことができれば、農家のモチベーションの向上につながると思います。

防災に関して、色々な市町村で火事が多いと感じます。消防の出動率が高くなっていると思います。野焼きなど、地域ごとに何らかのルールが欲しいと思います。

＜会長＞：まとめて担当課に確認していただきましょう。

（事務局）：農業につきましては、伊賀市農業振興計画の作成を進めています。第 3 章分野別施策にも追記させていただきました。なお、野焼き等の火事については、消防も地域へ周知していますので、担当課へ確認し、記載を加えることを検討したいと思います。

＜委員＞：参画度が低い分野について、要因を教えてください。

＜会長＞：総合計画の策定が終わりますと、総合計画の外部評価をするようになります。そこで、満足度や参画度の現状を踏まえて、今後どうやって見直していくか、担当課から文書になったものを見せていただく機会がありますので、そこで回答があると思います。

＜委員＞：市民へのアンケート調査は毎年度実施されるものですが、指標数が少ないことやワークショップがないことに対して不安に思っています。

（事務局）：6 月 15 日にタウンミーティングを開催する予定です。市民の方々にご参加いただいて聞き取りをさせていただきたいと思います。

＜委員＞：それぞれの地域に回覧板があるので、そういったものも活用して周知してほしいと思います。

＜会長＞：まちづくりアンケートについては、次年度から見直しをされると思います。

今後どうやって市民の皆さんの声を聞いて、施策に反映させていくかをご検討いただき、検討の結果も聞かせていただきたいと思います。

＜委員＞：資料１の４３ページ、将来像について書かれていますが、これは前回の審議会の意見を反映して仮で決まったものですか。

（事務局）：将来像については仮置き、イメージとして置いています。

＜会長＞：続いて、事項（２）「公共のあり方について（第２章）」の説明をいただきたいと思います。

—事務局 事項２ 公共のあり方について（第２章） 説明—

【資料１】第３次伊賀市総合計画（案） 第１章・第２章

＜会長＞：ここからは、これからの公共について意見をいただきたいと思います。市からのメッセージが資料１の５１ページ「伊賀市が目指す「これからの公共」のイメージ」に込められています。皆さんにどう伝わったかご意見をいただきたいと思います。

＜委員＞：資料１の４８ページ「計画の体系」についてですが、それぞれの課によって課題が横断的に関り合っていると思います。例えば農業と観光などは連携が大事ですが、どの課がサーバー役をやるかなどが分かれば、市民の方も相談しやすくなると思います。

（事務局）：市民の方がどこに相談に行けばよいかは、職員が説明できる状態でないといけないと思います。

横断的な取り組みに関しては資料１－２「第３次伊賀市総合計画（案）第４章」に考えを整理しています。

＜委員＞：農業と観光など、連携をサポートできる仕組みがあった方が、連携の推進も早くなると思います。

（事務局）：サポートに関して、調整については未来政策課が一部を担うことになると思います、そのあたりをもう一度整理させていただきます。

＜委員＞：ポンチ絵で示されているとより分かりやすいと思います。

＜委員＞：個々の部署で取り組むのではなく、連携してスムーズに取り組みを進めてほしいと思います。学校の閉校が進み、多くの学校が統合されています。他地域では廃校を活用して、子どもたちが遊べて大人も楽しめる施設があります。伊賀にも使っていない学校が多くあります。新しく何かを作るのではなく、活かすということも良い取り組みだと思います。農業に関しても、伊賀米なども地域外の人に知ってもらい、観光に関しては関西圏から一時間程度で来ることができることを上手に使うことで観光誘致をしてほしいと思います。

（事務局）：資産活用に関しては、民間活用制度で企業から意見もいただいておりますが、手続きの関係上、遅くなってしまいますので、ご指摘いただいたスピード感という点では、連携の仕方を直していかないといけないと考えています。

＜会長＞：第4章のように横断的な取り組みを記載することも大事ですが、一步踏み込んで、しくみづくりにつなげて欲しいと思います。いくつかの課が3つのみんなのテーマにそれぞれ属すると思うので、主幹課を決めてほしいと思います。3つのみんなのテーマに分けて庁内会議をするなど、横断的な取り組みを実行に移すための仕組みづくりが計画に書かれればよいと思います。

＜委員＞：まちづくりアンケートで答えた内容がどこに届いて、どうなったのか、課題をどう解決していくのかが分かりにくいです。

＜委員＞：地域と学校と市の連携が大切です。地域との連携のつなぎ役として住民自治協議会が関わっていると思います。

（事務局）：まちづくりアンケートの結果は公表させていただいておりますが、具体的にご意見がどう反映されたかが分かるようにはなっていません。ご意見がどう反映されたのかを示すことは総合計画の進行管理をする上でも重要になってきますので、公表の方法などを検討していきます。

＜会長＞：まちづくりアンケートの結果を公表することで、何が課題であるかが共有されてきましたが、課題をどう解決していくかというプロセスが共有されていなかったのではないかという意見でした。今後は、課題解決のプロセスを共有していくということを示しているのが資料1の51ページ「伊賀市が目指す「これからの公共」のイメージ」になります。

＜委員＞：51 ページの図に関して、矢印の意味などを説明してほしいです。

＜委員＞：51 ページの図に関して、事例を挙げてほしいです。事例を示していただくと、公共への関心の高まりにつながると思います。

（事務局）：「公共への関心の高まり」の部分に関して、生涯学習については、第3章分野別施策に、リカレント教育などに取り組んでいくということを加えています。その中で色々なメニューを作って取り組んでいくこととなります。矢印も多く、見づらい部分もありますが、共感と参画によってまちづくりに取り組んでいくということを示した図になります。

＜委員＞：51 ページの図は市民向けに作られたものでしょうか。市民には分かりづらいと思います。自分たちが学んで成長することがまちづくりにどうつながるかが分かる図になればよいと思います。リカレント教育という言葉も分からない人が多いので、学び直しに変えてほしいと思います。

＜委員＞：図にするのであれば、もう少し単純にしていきたいと思います。

（事務局）：共感と学びによって地域力を上げていくということを示した図でした。市民の方にもわかりやすい図の表し方を検討します。

＜会長＞：イメージ図をどうやって実践するか、実践例を示していただくと伝わりやすいというアイデアを今いただきました。パブリックコメントでまたアイデアをいただきたいと思いますので、最終案に近づけていただくとよいと思います。

総合計画に、これからの公共をみんなで考えていくということを記載するという提案には賛同いただいています。

（事務局）：参画や共有の部分が弱いという意見をいただいておりますので、その部分を強化するという意味でも、しっかり図を考えていきます。

＜委員＞：伊賀市は個々が活躍して地域が活性化することを目指していると思いますが、個々がグループを作って取り組みを行うことが難しいので、行政が情報を提供し、コーディネートする仕組みがあればよいと思いました。

＜会長＞：公共をつなぎ直すと言っていますが、つなぎ直す役割が行政だと思います。公共のイメージについても、パブリックコメントの期間に、アイデアを

いただけましたら事務局へお願いします。パブリックコメントを経てどういったものになったかは次回の審議会で拝見させていただきます。

それでは、将来像について、事務局から説明をお願いします。

―事務局 事項（３）将来像について 説明―

資料３「将来像（案）」

<会長>：資料３の「３．将来像の考え方」をご覧ください。「将来像は「ひとが輝く地域が輝く」を基本とする。または、より一層高める表現とする。」とされています。第３次総合計画で掲げようとしている３つのみんなのテーマのうち「こどもが育つ、大人も育つ」が将来像の「ひとが輝く」に当たり、「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」が将来像の「地域が輝く」に当たります。これらの欠かせない視点として、将来像の基本としてはどうかという提案をいただきました。

将来像を「ひとが輝く 地域が輝く」を基本とする、または、より一層高める表現とするという部分に関して委員の皆様から何かご意見はありますか。

<委員>：市長の考えは、一人一人が学び、共生していくというものだったと思います。市民から将来像を公募することで参画につながると思います。

<会長>：最終的にはパブリックコメントを経て市で決めていただきますが、パブリックコメントの前の素案に、何らかの将来像を掲げた上で市民の皆さんのご意見を伺った方が意見も出していただきやすいと思いますので、素案の段階では、この審議会で決めていただければと思います。

<委員>：将来像の考え方は。

<会長>：将来像としては、第１次伊賀市総合計画、第２次伊賀市総合計画のものを基本としつつ、より一層高める表現にするという方向です。どういう思いを込めたのかについては、説明文に記載してはどうかというのが事務局の考えです。何らかの形で盛り込むことができれば思いを伝えることができると思います。

<委員>：４つの案の中から将来像を選ぶということですか。

<会長>：４つの案の中から選んでいただくか、これらよりも良い案があれば、「ひと

が輝く 地域が輝く」を基本とした上で、ご提示いただき、委員の皆様で精査して決めていただくということになります。

＜委員＞：第１次伊賀市総合計画の将来像では「住み良さが実感できる自立と共生のまち」で、外国人、障がいのある方、高齢者、赤ちゃんまで、共生という意味が込められていると思います。第２次伊賀市総合計画では「勇気と覚悟が未来を創る」で、市民一人一人が関わっていくという流れになっています。

第３次伊賀市総合計画での将来像の案「すべてのひとが輝く 地域が輝く」の「すべて」という言葉には、あらゆる全ての人という意味があると思います。一人一人の思いを受け止めてくれている伊賀市の未来のイメージがしやすいと思います。

みんなのテーマ「つながりを結び直す」について、説明では、「地域社会のつながりを再構築し、強固なコミュニティを形成します。」と書かれていて、移住してきた方も含めて再構築しようということが分かりました。新しく来られた方々も含めて「すべて」だということが分かりました。

＜委員＞：資料３の２ページに書かれているような補足があれば将来像に込められた思いが理解していただけると思います。

＜委員＞：基本的に、「ひとが輝く 地域が輝く」ですが、みんなのテーマの３つ目の「つながりを結び直す」について、もう一言将来像に加えるという認識でよいですか。

（事務局）：「つながりを結び直す」については、サブテーマにしたいと考えています。

＜会長＞：将来像は「ひとが輝く 地域が輝く」を基本とし、より一層高める表現にするという方向でよろしいでしょうか。

資料３の４「将来像案（１～４）」をご覧ください。この４つの案のほかに良い案があればご発言いただき、下に記載している説明文に皆さんの思いが十分に反映されているかもご確認いただきたいと思います。

＜委員＞：「人と地域が響き合う」など、躍動感が欲しいと思います。

＜委員＞：「輝く」という表現は外国人にとっても理解できますが、「きらめく」は分かりにくいと思います。１番「すべてのひとが輝く 地域が輝く」か２番「すべてのひとが輝く 地域が輝く 共生のまち」が良いと思います。

＜委員＞：「輝く」という言葉の中に、市民の主体的な躍動感が感じられます。サブテーマにしてもよいと思います。

＜委員＞：１番「すべてのひとが輝く 地域が輝く」か、４番「一人ひとりがかがやく 地域がきらめく」のどちらかが良いと思っていましたが、１番が良いと思いました。

＜委員＞：説明文などに多文化についての記載があればよいと思いました。

きらめくとはどういったことを意味しているのかが分かりにくいです。方言などが入っていたら面白いと思います。

（事務局）：パブリックコメントでは、意見が多かった１番「すべてのひとが輝く 地域が輝く」を中心に取らせていただいてよろしいでしょうか。

＜会長＞：では、サブテーマをどのように掲げていくか、事務局の提案としては、「ひとが輝く 未来が輝く」でみんなのテーマ１「こどもが育つ、大人も育つ」と、みんなのテーマ２「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」を網羅しているので、サブテーマでみんなのテーマ３「つながりを結び直す」を表現すると、今回の計画らしい将来像になるのではないかと、整理しています。

みんなのテーマの３つを網羅できればよいと思いますし、「つながりを結び直す」をうまく表現できるサブテーマになればよいと思います。

＜委員＞：資料１「第３次伊賀市総合計画（案）第１章・第２章」の４７ページ「計画のテーマ」について、「つながりを結び直す」の（４）「内外の多様な主体と協働する」という文章が良いと感じました。これをサブテーマにできたらと考えています。

前回の審議会で、伊賀市はLGBTQの理解促進が進んでいることを聞いたので、「多様な」ということを強調したいと思います。

＜委員＞：学校でも、学び方において、「多様な学び」を求めているというふうになっています。

＜委員＞：「多様な」という表現ではないですが、「共生のまち」という表現があればよいと思います。

＜会長＞：サブテーマに「共生のまち」をいれたらどうかという提案ですね。

＜委員＞：サブテーマではなく、将来像に「共生のまち」と入れてもよいと思います。

＜会長＞：将来像が「すべてのひとが輝く 地域が輝く 共生のまち」で、サブテーマが「みんなで話そう 伊賀市の未来」。

＜委員＞：伊賀市の良さを出すには、サブテーマ案の5番「自然・歴史・文化 織りなすまち 伊賀市」が良いと思います。

＜委員＞：自信をもって「伊賀市」と全面的に出すようなタイトルにしてほしいと思います。

＜会長＞：サブテーマに「伊賀市」を入れましょうか。

＜委員＞：「みんなで話そう」というのは、コロナ禍でコミュニケーションが十分にできなかったので、「みんなで話そう」と呼びかけるイメージだと思います。未来に向かってみんなで考え合って発展させていくということがこの文に表れていると思います。

＜会長＞：サブテーマは1番「～みんなで話そう 伊賀市の未来～」か2番「～参加して みんなで話す まちづくり～」で考えましょうか。

＜委員＞：「みんなで話そう 伊賀市の未来」が良いと思っていましたが、第2次伊賀市総合計画で「勇気と覚悟が未来を創る」ときて、第3次伊賀市総合計画で「みんなで話そう」となっていて、優しくなったと感じます。「結ぶ」や「つながり」を入れたいです。「話してつながって動き出す伊賀市」など、行動やつながりが表せたらよいと思います。

（事務局）：「伊賀市」を入れて、「共感」と「参画」を表せる言葉にできればと思います。一旦、パブリックコメントを取らせていただくため、本日のご意見を踏まえて改めて事務局案をとりまとめて会長にご確認をいただき、ご承諾いただけたら原案として出してよいということによろしいですか。

＜会長＞：将来像は1番「すべてのひとが輝く 地域が輝く」を軸に据えて、サブテーマは今日いただいたご意見を踏まえて事務局案を明確にしていいただいて、また検討できればと思います。

4 その他

	<会長>：その他の項ですが、事務局からお願いします。 —事務局 その他 説明— ・ 6月15日（日）開催 タウンミーティング「～伊賀市の未来を考える～」 ・【資料1－2】第3次伊賀市総合計画（案）第4章 （これまで施策照会シートで整理してきた「みんなのテーマ」を横断的な取り組みとして再掲） ・ スケジュール <会長>：それでは、長時間にわたり慎重審議をいただきまして、ありがとうございました。進行を事務局にお戻しします。 （事務局）：熱心にご議論いただき、ありがとうございました。 本日の審議会を終了させていただきます。
--	---